

記念乗車記

～なくなる前の乗車記念～

日向 洋

私は昨年度の停車場発行以来、多くの「さよなら運転」などに乗りに行った。今回はその時の様子をレポートする。

第1章 ありがとう都営5200形さよなら運転

昨年11月3日に都営地下鉄浅草線（以下、都営浅草線）の5200形がさよなら運転をした。

5200形は、1976年に5000形の最終増備車として登場。12両（6両編成2本）が製造された。従来の5000形とは違い車体が鋼製からステンレス製に変更されている。最高速度100km/h。

5000形は1995年に全廃となったが（同年7月2日にさよなら運転を行っていた）比較的新しく、冷房改造されていたので残され、2000年8月14日に5200に改番された。1996年に編成組み換えされ、8両編成1本のみとなった（残りの4両は廃車）。

かつては京急にも乗り入れしていたが、1999年7月31日の鉄道全面ダイヤ改正で京急の逗子線方面行きの特急がなくなったため、非常時以外乗り入れなくなってしまった。残念…。

		
都営5200形 泉岳寺にて ※2006年3月13日撮影	都営5200形 馬込検車区にて ※2006年10月28日撮影	都営5200形&5300形 馬込検車区にて ※2006年10月28日撮影

往路

西馬込 10:09～「さよなら5200形」千葉ニュータウン中央行～千葉ニュータウン中央 11:36

家を8時15分頃に出て、西馬込に向かった。西馬込駅の改札を出るまで、さよなら5200形に乗る人で混んでいた。西馬込駅南口で臨時列車「さよなら5200形」の専用乗車券を買った。普通の乗車券では乗ることができないからだ。切符を買い、改札内で「さよなら5200形」に乗るために列に並んだ。西馬込発はくじで乗る車両を決めることになっていた。くじ引きの結果、私は5号車に乗ることになった。改札が始まり、5200形に乗り込んだ。

		
都営 5200 形の妻面と妻窓 窓は 2 段式	都営 5200 形のつり革 特有の形をしている	都営 5200 形のつり革 優先席付近はこんな感じ

10:09、定刻通りに発車した。乗車してしばらく、警備員さんが回ってきた。なんと当日のダイヤグラムのコピーをくれたのだ。列車は泉岳寺に止まった。ドアは開けられない。なんと乗務員の交代らしい。ほかにもドアを開けずに止まったのは押上、八広、高砂、矢切である。押上・高砂は乗務員の交代、八広は通過待ち、矢切は高速運転をするため前の列車との間隔をあけるためだそうだ。

泉岳寺を出発してすぐに、隣の車両の車端部に警備員さんが集まっていた。なんと紙（当日のダイヤグラムのコピーだった）に何かの液体を吸わせている（床が濡れていた）。同じ車両の人が「なにがあったんだ？」と思ったのか、数人の人が車端部に行って様子を見ていた。誰かが缶ジュースでもこぼしたのか？それとも…？ 結局、何も分からずに、警備員さんが始末し終わるとまわりのお客さんに頭をさげて行ってしまった。どうやら解決したようだ。

押上を過ぎ、京成線内に入ると、何度か非常ブレーキらしき急ブレーキがかかった。踏切に入って撮影している人がいたそうだ。・・・。

高砂に着く前、女性の乗務員さんが来て切符の裏にスタンプを押してくれた。男性の乗務員さんもきてスタンプを押してくれた。どちらも「さよなら 5200 形号」限定のスタンプである。やった！

青砥～高砂間、京成 3000 形と併走した（青砥～高砂間は複々線）。

矢切に着く前（矢切を出た後だったような気も）車内放送で、5200 形が北総に乗り入れできなくなったが、ダイヤ乱れの関係上 1 回だけ乗り入れしたことがあると聞いた。矢切では予定 12 分の停車時間が短縮された。なんと、千葉ニュータウン中央で写真を多く撮らせてくれるためだそうだ。

やがて、千葉ニュータウン中央に着いた。まず階段を駆け上がり、ジュースを一本もらった。今年、北総鉄道は 35 周年を迎えるということで記念にくれたのだ。改札を出て、帰りの「さよなら 5200 形」号の切符を買った。入場券を別に買ってもう一回中に入り、停車している 5200 形を撮った。やがて印西牧の原まで回送するため、発車していった。

		
さよなら 5200 形のポスター	都営 5200 形の車番プレート	都営 5200 形 千葉ニュータウン中央にて

復路の出発まで時間があるので、改札を出て北総鉄道創立 35 周年を記念したグッズを買い、駅前にあった「ampm」でおにぎりを買った。そのコンビニで鉄研（旅行・鉄道研究部の略称）の M 先輩（現高校 3 年生）と会った。だが、コンビニは多くのファンが先にたくさん来ており、商品がなくなっていたので、近くのジャスコにある「ミスタードーナツ」で昼飯を食べることにした。そのジャスコでは、鉄研の後輩である S 君と H 君（2 人とも現中学 3 年生）とも会ったのだ。

その後駅に戻ると、すでに行列ができていた。もう一回、北総鉄道創立 35 周年を記念したグッズを買った。そして、また列に並びなおし、改札が始まるのを待った。



さよなら 5200 形乗車記念切符 左:切符の表 右: 切符の裏に押しもらったスタンプ

復路		
千葉ニュータウン中央 13:05～	「さよなら 5200 形号」	西馬込行」 ～西馬込 14:13

いよいよ、千葉ニュータウン中央を出発する時間が近づいてきた。改札が始まり、中に入った。帰りにくじ引きはない。ドアは 2 箇所しか開いていなかった。なんと係員さんが非常用のドアコックを使って開けていたのだ。



13:05、定刻通りに発車した。私は車番プレートの写真を撮るため、車内を行ったり来たりしていた。ファンの人が係員さんに 5200 形について聞いていた。なんとこの車両、100 km/h まで出せるのだが、モーターが古いため当日は 80 km/h で精一杯だったらしい。驚いた。

しばらくして高砂についた。ここで北総から京成へ乗務員交代して出発した。青砥を過ぎて、少し行ったところで非常ブレーキがかかった。その時、先頭車にいたのだが、すぐに近くの人が「人身事故だ！」と叫んだ。「えっ？（さよなら運転で）人身事故!？」座っていた人まで立ち上がって前方を見ようとした・・・

係員さんが言った。「大丈夫ですよ。踏切に入って撮影している人がいただけですから。」

「ハア？テツドーファンシツカクジャン！」

同じ鉄道ファンとして恥ずかしいかと、周りの人が話し合っていた。

その後再び車番プレート撮るため、後尾車へ向かった。まもなく押上についた。今度は京成から都営地下鉄に乗務員交代だ。停車中に、車掌さんが車内放送を流した。

「5200形は本日をもって幕を閉じるわけですが、この列車の担当運転手も今年度をもちまして退職いたします。運転歴33年のベテラン運転手が、万感の思いを込めて西馬込駅まで運転いたします。よろしく願いいたします。」

「WOWー！ WOWー！」

みんな感動して拍手した。発車して、泉岳寺まではノンストップ。そして西馬込についた。着いてすぐに撮影したが、5200形はまもなく車庫へ発車した。馬込検車区で記念品がもらえるというので行った。もらったのは5200形のピンバッジだった。しかも検車区でも5200形が撮影できた。ただ、検車区で5200形車内に貼ってあったポスターを発売する予定だったが、あまりに人が集まりすぎたので、後日発売ということになってしまった。手に入れることができず、残念…

都営5200形はしばらく馬込検車区に留置されていたが、2006年12月20日、京急の久里浜工場へ廃車回送が行われた。そして数日後、解体された。以下は2006年12月25日に撮影したものである。



5200形編成表

1996年の編成組み換え～2006年12月20日（廃車回送日）まで

5201-5202-5203-5204-5209-5210-5205-5206

2006年12月25日に撮影したときの車両の並び

5205-5206 5203-5204-5209-5210 5201-5202

↑

↑

5201-5202、5205-5206の位置が変わり、先頭車が8両の中ほどにある。

第2章 ありがとう「特急 東海」

2007年3月18日のダイヤ改正で、1日2往復していた「特急 東海」が廃止になった。3月16・17日に、私は廃止直前の「特急 東海」に乗った。以下はそのレポートである。

No.1 廃止前日の「特急 東海」2007年3月16日

横 浜 16:23～ 「東海道本線」 特急 東海3号 静岡行 ～大 船 16:36

家を15時頃に出て、横浜に向かった。横浜に着き、外の券売機で大船までの普通乗車券、「みどりの窓口」で横浜～大船間の自由席特急券を買った。「特急 東海」に乗るためだ。

いよいよ、「特急 東海」が入線してくる。16:22、横浜駅6番線に入線してきた。使用車両はJR東海373系である。373系は特急車両で普通・快速（定期のムーンライトながらなど）、特急（ワイドビューふじがわなど）などに使用されている。

6両編成と短く、ホーム中ほどに止まった。私は自由席に乗る。「特急 東海」は指定席2両、自由席4両となっている。静岡寄りから1号車・2号車…5号車・6号車の順になっており、1・2号車が指定席、3～6号車が自由席だ。横浜で発車ぎりぎりまで写真を撮った後、6号車に乗り込んだ。

16:23、発車した。次は大船だ。「特急 東海」の車内放送をとろうと、録音機を出し、後尾車であるということで車掌さんがマイクを取る瞬間を見ていた。しかし、車掌さんがマイクを取っていないのに突然放送が流れ出した！なんと、373系に自動放送が入っている！かつて「快速 ムーンライトながら」に乗ったときは自動放送はなかったのに… 結局、録音は失敗に終わった。

検札を受け、荷物を整理。そして外を見ていた。120 km/hくらい出しているだろうか？いつもより速い感じがした（東海道本線は速くても通常100 km/hくらいしか出さない）。特急車両ということでも快適だった。

この「特急 東海」は、かつて「急行 東海」として165系で運行されていたものである。1996年に165系から373系に車両変更し、同時に急行から特急に繰り上げられた列車である。

13分ほどで大船に着いた。もうこれで「特急 東海」の旅は終わりか… 残念な思いを抱えながら、発車するまで撮影した。

		<div style="text-align: center;"> <p>B自由席特急券</p> <p>横 浜 → 大 船</p> <p>3月16日から 2日間有効 1回限り有効 ¥500</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>無効 大船</p> </div> <p>19.-3.16 横浜駅M5発行 20611-01 (2-) C60</p> <p style="text-align: right;">3.18</p> </div>
<p>JR 東海 373 系</p> <p>特急 東海3号 静岡行</p> <p>横浜にて</p>	<p>JR 東海 373 系</p> <p>特急 東海3号 静岡行</p> <p>大船にて</p>	<p>当日の自由席特急券</p>

横 浜 19:18～ 「東海道本線」 **特急** 東海4号 東京行 ～品 川 19:35

		
<p>「特急 東海」のヘッドマーク (写真は東海2号) 2007年3月17日午前中撮影</p>	<p>「特急 東海 東京行」の行先方向幕 (写真は東海2号) 2007年3月17日午前中撮影</p>	<p>1・2号車は指定席 2007年3月17日午前中撮影</p>

当日は、家を18:20頃に出て横浜に行き、「特急 東海」に乗るため、普通乗車券を券売機で買った(今回は車内で特急料金を清算してもらうことにした)。先頭車に乗るため、横浜駅の7番線の柱番号13番付近まで行った。やがて、接近放送が流れた。そのころ、反対のホーム(6番線)ではファンが集まっていたので危険なので、係員さんがロープをはっていた。私は発車ぎりぎりまで撮影し、乗り込んだ。

車内は昨日より混んでいた。やはり最後だからかな? 車内で車内放送を録音した。今日は川崎までの間は失敗、その後は成功した。なんと、テレビの取材が入っていた! 「特急 東海」が最後だから取材しているのかな? そして約17分で品川に到着。ここでも横浜と同じように撮影している人がいた。約1分後、「特急 東海」は発車した。 ありがとう。「特急 東海」

		
<p>「特急 東海2号 東京行」 JR 東海 373系 横浜にて</p>	<p>横浜駅の構内案内板 一番上の表示は「特急 東海」</p>	<p>「特急 東海4号 東京行」 JR 東海 373系 横浜にて</p>

最後までお読みいただきありがとうございます。今年の停車場発行以降に廃止になった列車は、この2つだけではありませんが、それらの中で乗ったもののなかで一番心に残ったものが、都営5200形と「特急 東海」でした。またいつか復活したらいいなと思います。